



2022年3月8日

群馬県上野村 関東学院大学 包括連携協定を締結

調印式 3月15日(火) 於：群馬県上野村役場

群馬県上野村（村長：黒澤八郎）と関東学院大学（本部：横浜市金沢区 学長：小山巖也）は、地域課題を捉えその解決に向けた取り組みを実践する教育を通して地域振興へ積極的に貢献する人材を育成することを目指し、包括連携協定を締結します。

関東学院大学法学部では、地域創生への取り組みとして群馬県上野村との交流を続けています。上野村における関係人口の拡大と空き家活用のモデルケースとなることを目指し、2021年度にゲストハウス「つばくむ荘」を開設。2022年1月には学生が上野村長へゲストハウスの運営に対する支援策についての提案を行いました。「つばくむ荘」開設プロジェクトを第一弾とし、協定締結後は、「つばくむ荘」を拠点とするコミュニティ活動支援、上野村の広報誌「広報うえの」への学生の寄稿（連載）などを中心に活動を行い、双方の連携を強化する予定です。

調印式

日時：3月15日(火) 14:00～

会場：群馬県上野村役場

〒370-1614 群馬県多野郡上野村大字川和 11 番地

取材等に関わるお問合せ先

群馬県上野村役場振興課 瀧上 守

TEL：0274-59-2111

kikakuka@vill.ueno.gunma.jp

関東学院大学 広報課 浜 香代子

TEL：045-786-7049

kouhou@kanto-gakuin.ac.jp

上野村 概要

群馬県の最西南端に位置し、長野県、埼玉県と接している。2022年3月1日現在の人口は1,126人と群馬県で最も人口の少ない自治体だが、平成元年からのIターン者数が約240名と、人口の約20%がIターン者となっている。また、村の95%を占める森林を効果的に活用する林業の振興、木質バイオマスの有効利用による村内循環社会の構築への取組など、持続可能な社会の形成のため、様々な挑戦を続けている。

関東学院大学 概要

1884年横浜・山手に米国人宣教師が創立した横浜バプテスマン神学校が源流。1949年の学制改革により関東学院大学となる。現在では、国際文化、社会、法、経済、経営、理工、建築・環境、人間共生、教育、栄養、看護の11学部を設置する総合大学。学生数10,962名(2021年5月現在) 学長 小山 巖也(こやま・よしなり)